

(様式第9)

宮大医医第 75号
平成19年10月4日

厚生労働大臣 殿

宮崎大学医学部附属病院長
高崎 眞

宮崎大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	34.5人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	183人	181人	318.4人	看護業務補助	11人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	14人	18.2人	理学療法士	3人	臨床検査技師	28人
薬剤師	22人	0人	22.0人	作業療法士	1人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	12人	0人	12.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	427人	29人	448.0人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	2人	1.5人	栄養士	0人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	86人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	22人	その他の職員	38人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	518.5人	11.7人	530.2人
1日当たり平均外来患者数	676.0人	30.8人	706.8人
1日当たり平均調剤数			566.2剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗癌剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前癌病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人

・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病の DNA 診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	人
・神経変性疾患の DNA 診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症の DNA 診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・ ³¹ P 磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症の DNA 診断	有・無	人
・固形腫瘍（神経芽腫）の RNA 診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症 BCG 副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体空素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発癌性遺伝性皮膚疾患の DNA 診断	有・無	人
・筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	有・無	人
・Q 熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザ冠動脈形成術	有・無	人
・活性化 T リンパ球移入療法	有・無	人
・抗癌剤感受性試験 (CD - DST 法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺癌手術	有・無	人

・骨腫瘍の CT 透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・HLA 抗原不一致血縁ドナーからの CD34 陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術 (CT 透視下法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚繊維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞 (CD34 陽性細胞に限る。) による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍 (組織) を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍 (組織) 及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類 (歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻咽喉科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血管細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・眼底三次元画像解析	<input checked="" type="radio"/> 有・無	人
・CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクターピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	67人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	49人
・多発性硬化症	18人	・ウェゲナー肉芽腫症	4人
・重症筋無力症	61人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	29人
・全身性エリテマトーデス	215人	・多系統萎縮症	12人
・スモン	2人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	12人	・膿疱性乾癬	9人
・サルコイドーシス	65人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	21人	・原発性胆汁性肝硬変	32人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	148人	・重症急性膵炎	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	38人	・特発性大腿骨頭壊死症	53人
・結節性動脈周囲炎	28人	・混合性結合組織病	34人
・潰瘍性大腸炎	185人	・原発性免疫不全症候群	10人
・大動脈炎症候群	18人	・特発性間質性肺炎	23人
・ビュルガー病	12人	・網膜色素変性症	22人
・天疱瘡	18人	・プリオン病	3人
・脊髄小脳変性症	28人	・原発性肺高血圧症	8人
・クローン病	131人	・神経繊維腫症	24人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	79人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	11人	・ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	88人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。			
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月に1回程度			
剖検の状況	剖検症例数	36例	剖検率	21.1%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アドレノメデュリンの展開医療	江藤 胤尚	第一内科	5,300,000	補・委 日本学術振興会
アドレノメデュリンの抗炎症作用を利用した医薬品の開発	北村 和雄	第一内科	1,800,000	補・委 科学技術振興機構
アドレノメデュリンを用いた循環器疾患の画期的治療法の開発	北村 和雄	第一内科	4,000,000	補・委 厚生労働省 厚生労働科学研究 費補助金
アドレノメデュリンを利用した新しい虚血性心疾患治療法の開発	北村 和雄	第一内科	1,500,000	補・委 厚生労働省 循環器病委託研究
アドレノメデュリンと関連ペプチドによる循環制御機構の解明と診断・治療学的応用のための基礎研究	北村 和雄	第一内科	1,900,000	補・委 厚生労働省 循環器病委託研究
アドレノメデュリンと関連ペプチドの特徴的作用の解析と治療応用	加藤 丈司	第一内科	1,200,000	補・委 日本学術振興会
REACH Registryアテローム血栓性イベントリスクを持つ患者を対象とする国際前向き観察研究	塩見 一剛	第三内科	150,000	補・委 (財)日本ワックス スマン財団
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	中里 雅光	第三内科	550,000	補・委 国立精神・神経セ ンター
ペプチドーム解析を応用した脳機能調節に作用する新規神経ペプチドの探索と機能研究	中里 雅光	第三内科	2,600,000	補・委 日本学術振興会
COPDにおける新規生理活性ペプチドグレリンの病態生理学的意義と臨床応用の試み	中里 雅光	第三内科	3,200,000	補・委 日本学術振興会
運動トレーニングによる成長ホルモン分泌亢進機序とソマトポーズ抑制に関する研究	十枝内 厚次	第三内科	1,200,000	補・委 日本学術振興会
エネルギー代謝調節ペプチドグレリンの脂肪組織に対する作用	新原 琢也	第三内科	2,000,000	補・委 日本学術振興会
摂食とエネルギー代謝調節に機能する新規消化管ペプチドの探索と機能解析	中里 雅光	第三内科	2,800,000	補・委 日本学術振興会

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規消化管由来生理活性ペプチドの探索と摂食・消化管調節機構の解明	M・S Mondal	第三内科	1,500,000	補・委 日本学術振興会
βデフェンシンの気道上皮における発現誘導と感染防御に関する分子生物学的解析	芦谷 淳一	第三内科	1,300,000	補・委 日本学術振興会
ソマトポーズに対するグレリンの臨床応用と基盤的研究	中里 雅光	第三内科	4,000,000	補・委 厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究（科学研究費補助金）	中里 雅光	第三内科	1,200,000	補・委 厚生労働省
成人T細胞白血病ハイリスク群検索のための新規検査法の開発	岡山 昭彦	膠原病・感染症内科	900,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金
肝予備能把握法の確立と肝切除後残存肝機能の分子生物学的解析	千々岩 一男	第一外科	1,300,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金
大量肝切除及び病態肝切除における肝予備能の評価と治療-胆汁酸トランスポーターの動態を中心にした解析	甲斐 真弘	第一外科	2,300,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金
膵癌の浸潤・転移に関与する培養因子の機能解析, 癌-間質相互作用との関連	前原 直樹	第一外科	1,000,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金
遺伝性網膜変性症の分子生物学的並びに電気生理学的研究	直井 信久	眼科	1,500,000	補・委 日本学術振興会
Population baseによる周産期脳障害の分析とその治療法に関する研究	池ノ上 克	産婦人科	2,000,000	補・委 (財)日母おぎや一 献金基金
肺腫瘍に対するラジオ波焼灼凝固療法における胸膜障害に関する研究	中田 博	放射線科	100,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金
VWF-CP遺伝子導入による、血管内ステント挿入術後の血栓動脈	田村 正三	放射線科	1,300,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金
下肢深部静脈血栓症の予防-遺伝子導入による試み	古小路 英二	放射線科	1,100,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
局所麻酔薬の使用依存性ブロックに関する研究	高崎 眞弓	麻酔科	2,500,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金
神経因性疼痛に関する間欠的高周波照射の鎮痛メカニズムに関する研究	立山 真吾	麻酔科	1,000,000	補・委 文部科学省 科学研究費補助金
致死的なAeromonas属細菌感染症における病原因子の生化学的遺伝子学的解析	松岡 博史	ICU	1,000,000	補・委 宮崎大学戦略重点 経費（研究戦略経 費）
複雑性局所疼痛症候群（CRPS）の診断基準作成と治療法に関する研究	高崎 眞弓	麻酔科	260,000	補・委 厚生労働省 こころの健康科学 研究事業
悪性グリオーマにおける免疫制御機構の解明と自殺キメラ分子を用いた腫瘍免疫賦活療法	竹島 秀雄	脳神経外科	3,900,000	補・委 日本学術振興会

計 31

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Biol. Chem	Functions of the cytoplasmic tails of the human receptor activity-modifying protein components of calcitonin gene-related peptide and adrenomedullin receptors	Kitamura K	第一内科
Cardiovasc Res	Adrenomedullin in mast cells of abdominal aortic aneurysm	Kitamura K	第一内科
J Hum Hypertens	Plasma adrenomedullin level and development of hypertension	Kitamura K	第一内科
Hypertension	Soluble guanylate cyclase stimulation on cardiovascular remodeling in angiotensin II-induced hypertensive rats	Kitamura K	第一内科
Biochem Biophys Res Commun	Isolation and identification of proangiotensin-12, a possible component of the renin-angiotensin system	Kitamura K	第一内科
Clin Cardiol	Adiponectin produced in coronary circulation regulates coronary flow reserve in nondiabetic patients with angiographically normal coronary arteries	Date H	第一内科
Ther Apher Dial	Leukocytapheresis for ulcerative colitis: a comparative study of anticoagulant (nafamostat mesilate vs. dalteparin sodium) for reducing clinical complications	Nishiura R	第一内科
Clin J Am Soc Nephrol	Incidence of ANCA-associated primary renal vasculitis in Miyazaki prefecture: The first population-based, retrospective, epidemiologic survey in Japan	Fujimoto S	第一内科
Nephron Exp Nephrol	Increased production of adrenomedullin in glomeruli from anti-glomerular basement membrane (GBM) glomerulonephritis rats treated with methylprednisolone	Eto T	第一内科
Pathology - Research and Practice	Different inflammatory response and oxidative stress in neointimal hyperplasia after balloon angioplasty and stent implantation in cholesterol-fed rabbits	Imamura T	第一内科
Biochem Biophys Res Commun	Isolation and identification of proangiotensin-12, a possible component of the renin-angiotensin system	Kitamura K	第一内科
J Thromb Haemost	Inhibition of 5-hydroxytryptamine _{2A} receptor prevents occlusive thrombus formation on neointima of the rabbit femoral artery	Imamura T	第一内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Heart J	Increased expression of interleukin-10 in unstable plaque obtained by directional coronary atherectomy	Imamura T	第一内科
J Electron Microsc	Ultrastructural transformation of gastric parietal cells reverting from the active to the resting state of acid secretion revealed in isolated rat gastric mucosa model processed by high-pressure freezing	Sawaguchi A	第一内科
Ren Fail	Renal biopsy in elderly patients: a clinicopathological analysis	Fujimoto S	第一内科
Am J Cardiol	: Detection of von willebrand factor and tissue factor in platelets-fibrin rich coronary thrombi in acute myocardial infarction	Date H	第一内科
Arterial Stiffness	長期のベニジピン療法により降圧を超えた動脈硬化度の改善が得られる	北俊弘	第一内科
血圧	Ca拮抗薬（ベニジピン）と動脈硬化度	北俊弘	第一内科
J Thromb Haemost	Factor XI contributes to thrombus propagation on injured neointima of the rabbit iliac artery.	Kitamura K	第一内科
Am J Cardiol	Detection of von Willebrand factor and tissue factor in platelets-fibrin rich coronary thrombi in acute myocardial infarction.	Imamura T	第一内科
J Thromb Haemost	Inhibition of 5-hydroxytryptamine _{2A} receptor prevents occlusive thrombus formation on neointima of the rabbit femoral artery.	Eto T	第一内科
Int J Cancer	Alanine aminotransferase level as a predictor of hepatitis C virus-associated hepatocellular carcinoma incidence in a community-based population in Japan	Hayashi K	第二内科
Hepatology Research	Spontaneous elimination of hepatitis C virus RNA in individuals with persistent infection in a hyperendemic area of Japan	Uto H	第二内科
Liver Transplantation	Navigator-echo-based MR provides high-resolution images and precise volumetry of swine livers without breath holding or injection of contrast media	Kim I	第二内科
International Journal of Molecular Medicine	Repeated intravenous injection of recombinant human hepatocyte growth factor ameliorates liver cirrhosis but causes albuminuria in rats	Kusumoto K	第二内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
宮崎県医師会医学学会誌	当科における肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼療法の治療成績	林克裕	第二内科
Cytokine	Interleukin-10 or tumor necrosis factor- α polymorphisms and the natural course of hepatitis C virus infection in a hyperendemic area of Japan	Uto H	第二内科
Oncology Reports	Effect of hepatocyte growth factor on endogenous hepatocarcinogenesis in rats fed a choline-deficient L-amino acid-defined diet	Nakanishi C	第二内科
Leukemia & Lymphoma	Efficacy of intravenous ciprofloxacin in patients with febrile neutropenia refractory to initial therapy	Yamashita K	第二内科
Oncogene	Physical and functional interactions between Daxx and STAT3	Shimoda K	第二内科
The Journal of Immunology	Modulation of TLR4 signaling by a novel adaptor protein Signal-transducing adaptor protein-2 in macrophages	Shimoda K	第二内科
Journal of Biological Chemistry	Activation of Tyk2 and Stat3 is required for the apoptotic actions of Interferon- β in primary pro-B cells	Shimoda K	第二内科
Transplantation	Adult T-cell leukemia development from a human T-cell leukemia virus type I carrier after a living-donor liver transplantation	Shimoda K	第二内科
Molecular Cellular Biology	Tyk2 tyrosine kinase expression is Required for the maintenance of mitochondrial respiration in primary pro-B lymphocytes.	Shimoda K	第二内科
Microbiol. Immunol.	Autoimmune regulation (AIRE) gene is expressed in human activated CD4+ T-cells and regulated by mitogen-activated protein kinase pathway	Shimoda K	第二内科
J Gastroenterol	Effects of ghrelin and des-acyl ghrelin on neurogenesis of the rat fetal spinal cord	Nakazato M	第三内科
Endocrinology	Central effects of calcitonin receptor-stimulating peptide-1 on energy homeostasis in rats	Nakazato M	第三内科
Cell Metab	Peripheral ghrelin transmits orexigenic signals through the noradrenergic pathway from the hindbrain to the hypothalamus	Nakazato M	第三内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocrine J, in press	Ghrelin: a novel peptide hormone involved in the regulation of growth hormone secretion and energy balance	Nakazato M	第三内科
Endocrinology	Central effects of CRSP-1 on energy homeostasis in rats	Nakazato M	第三内科
Respir Res	Isolation of human β -defensin-4 in lung tissue and its increase in lower respiratory tract infection	Nakazato M	第三内科
Eur Respir J	Identification of hBD-3 in respiratory tract and serum and its increase in pneumonia	Nakazato M	第三内科
J Endocrinol	Neuropeptide W is present in antral G cells of rat, mouse, and human stomach	Nakazato M	第三内科
Endocrinology	Maternal ghrelin plays an important role in rat fetal development during pregnancy	Nakazato M	第三内科
J Neuroendocrinol	Galanin-like peptide promotes feeding behavior via activation of orexinergic neurons in the rat lateral hypothalamus	Nakazato M	第三内科
Horm Behav	Ghrelin concentrations and cardiac vagal tone are decreased after pharmacologic and cognitive-behavioral treatment in patients with bulimia nervosa	Nakazato M	第三内科
J Gastroenterol	Changes in plasma ghrelin levels, gastric ghrelin production, and body weight after Helicobacter pylori cure.	Nakazato M	第三内科
Endocrinology	Des-acyl ghrelin induces food intake by a mechanism independent of the growth hormone secretagogue receptor	Yamaguchi H	第三内科
Clin Microbiol Infect	Significance of human β -defensins in epithelial lining fluid of patients with chronic lower respiratory tract infections.	Nakazato M	第三内科
Science	Neuronal pathway from the liver modulates energy expenditure and systemic insulin sensitivity.	Nakazato M	第三内科
Endocrinology	Maternal ghrelin plays an important role in rat fetal development during pregnancy.	Nakahara K	第三内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurosci Lett	Postnatal development of orexin-A and orexin-B like immunoreactivities in the eastern grey kangaroo (<i>Macropus giganteus</i>) hypothalamus.	Nakazato M	第三内科
J Endocrinol	Centrally administered neuropeptide W-30 activates magnocellular neurosecretory cells in the supraoptic and paraventricular nuclei with neurosecretion in rats.	Nakazato M	第三内科
Neurosci Res	Fasting-induced reduction in locomotor activity and reduced response of orexin neurons in carnitine-deficient mice.	Nakazato M	第三内科
胆道	肝門部胆管癌と肝門型肝内胆管癌の臨床病態と予後因子の相違	近藤千博	第一外科
Gut	Suppressor of cytokine signalling 1 in lymphocytes regulates the development of intestinal inflammation in mice.	Chijiwa K	第一外科
宮崎県医師会医学雑誌	過去5年間に当科で経験した水飛び込みによる頸椎頸髄損傷の検討	黒木浩史	整形外科
脊柱変形	特発性側弯症に対する器具が脊柱矢状面アライメントに及ぼす影響	黒木浩史	整形外科
J Manipulative Physiol Ther	Comparative study of hands-on therapy with active exercises vs education with active exercises for the management of upper back pain	帖佐悦男	整形外科
別冊整形外科	(脊椎疾患における鑑別診断と治療法選択の根拠) 頸椎頸椎症性脊髄症 棘突起縦割式椎弓形成術 (double door laminoplasty) の生体力学的根拠	帖佐悦男	整形外科
MB Orthop	前・初期股関節症に対する Bernes periacetabular osteotomy	帖佐悦男	整形外科
日本人工関節学会誌	セメントレスTHA 3本スパイク・セメントレス人工股関節 (JOHP) の臨床成績	帖佐悦男	整形外科
日本臨床スポーツ医学会誌	高校国体候補選手における膝周囲筋力の評価	帖佐悦男	整形外科
Clinical and Experimental Dermatology	Transcripts of the human herpesvirus 8 genome in skin lesions and peripheral blood mononuclear cells of a patient with classic Kaposi's sarcoma	Setoyama M	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
British Journal of Dermatology	Detection of COL1A1-PDGFB fusion transcripts and platelet-derived growth factor alpha and beta receptors in giant cell fibroblastoma of the postsacroccygeal region	Setoyama M	皮膚科
EUROPE AND SOUTH AMERICA FROM 1999 TO 2004	BIOLOGICAL MONITORING OF SOLAR UV RADIATION AT 17 SITES IN ASIA	Munakata N	皮膚科
Acta Urol Jpn	The Prevalence of Overactive Bladder and Nocturnal Enuresis in Japanese Early Adolescents : A Questionnaire Survey.	井上勝己	泌尿器科
泌尿器科紀要	本邦中学生の過活動膀胱、夜尿症に関する疫学調査	井上勝己	泌尿器科
International Journal of Urology	Expression and distribution of OCTN2 in mouse epididymis and its association with obstructive azoospermia in juvenile visceral steatosis mice	薬師寺和道	泌尿器科
西日本泌尿器科	九州沖縄地区における根治的前立腺摘除術と術後補助療法およびPSA failureに関するアンケート調査	蓮井良浩	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌	近位型尿道下裂に対するYoke法の検討	長田幸夫	泌尿器科
西日本泌尿器科	腎血管筋脂肪腫における腎動脈塞栓術の効果について	長田幸夫	泌尿器科
Japanese Journal of Ophthalmology	Clinical and Molecular Findings in Three Japanese Patients with Crystalline Retinopathy	Zi-Bing jin	眼科
Molecular Vision	Mutational analysis of RPGR and RP2 genes in Japanese patients with retinitis pigmentosa: identification of four mutations	Zi-Bing jin	眼科
Advances in Experimental Medicine and Biology	RCC1-like domain and ORF15: essentials in RPGR gene	Zi-Bing jin	眼科
Journal of Neuro-Ophthalmology	Nitric Oxide in Optic Neuritis and Multiple Sclerosis	Chuman H	眼科
眼科臨床医報	網膜中心静脈閉塞症に対するトリアムシノロンおよび組織プラスミノーゲン活性化因子併用療法	福島慶美	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床眼科	Stage分類を用いた特発性黄斑円孔の手術予後の検討	中馬智巳	眼科
Auris Nasus Larynx	Preservation of the auditory nerve function after translabyrinthine removal of vestibular schwannoma	Kiyomizu K	耳鼻咽喉科
Otology japan	宮崎県の一企業における耳硬化症 (疫学) 調査	清水謙祐	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床	ENGを施行した1, 493例についての検討	清水謙祐	耳鼻咽喉科
Intern. J. Neuroscience,	Calcium action on the membrane currents possessing the properties of mechano-electric transducer currents in inner hair cells of the guinea-pig cochlea	Kimitsuki T	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx	Extramedullary plasmacytoma of the larynx	Nakashima T	耳鼻咽喉科
Otology japan	鼓室硬化症によるアブミ骨固着に対するアブミ骨手術—耳小骨再建法による術後聴力の比較—	河野浩万	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床	ENGを施行した1, 493例についての検討	清水謙祐	耳鼻咽喉科
Anesthesia and Analgesia	A comparison of intracellular lidocaine and bupivacaine concentrations producing nerve conduction block in the giant axon of crayfish in vitro	Takasaki M	麻酔科
Journal of Anesthesia	Increase in intracellular Ca ²⁺ concentration is not the only cause of lidocaine-induced cell damage in the cultured neurons of <i>lymnaea stagnalis</i>	Takasaki M	麻酔科
宮崎県医師会医学雑誌	等比重ブピバカインの低用量脊髄くも膜下麻酔は輸液量を減らす	高崎真弓	麻酔科
麻酔	脊硬麻 (needle through needle) による帝王切開後の硬膜外鎮痛には低用量ブピバカインは無効である	高崎真弓	麻酔科
麻酔	シクロデキストリン包接レボブピバカイン硬膜外投与後の血漿レボブピバカイン濃度の推移	高崎真弓	麻酔科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
宮崎県医師会医学学会誌	心臓弁疾患を有する患者の非心臓手術後循環器合併症—当院での後ろ向き調査—	高崎真弓	麻酔科
Anesthesia and Analgesia	A comparison of intracellular lidocaine and bupivacaine concentrations producing nerve conduction block in the giant axon of crayfish in vitro	Takasaki M	麻酔科
脊髄外科	Articulationを起こさないC1-2後方固定（ハームス法）.	浅見尚規	脳神経外科
日本脊椎インストゥルメンテーション学会誌	後方からC1-2 fusion 後片側C2神経根を切断し部分摘出した巨大な腫瘍例.	浅見尚規	脳神経外科
脊椎・脊髄神経手術手技	The knack of anterior cervical interbody fusion with AMSLU.	浅見尚規	脳神経外科
AJNR	Clinical evaluation of cellulose beads for the therapeutic embolization of meningioma.	Takeshim H T	脳神経外科
Acta Oncol	Recurrent intracranial germinoma outside the initial radiation field: A single-institution study.	Takeshim H T	脳神経外科
Surg Neurol	Rising incidence of primary central nervous system lymphoma in Kumamoto, Japan.	Takeshim H T	脳神経外科
Cranio	Relationship between head position and the muscle hardness of the masseter and trapezius muscles: a pilot study	Kashima K	歯科口腔外科
Dentomaxillofac Radiol	Correlation between the incidence of central nodal necrosis in cervical lymph node metastasis and the extent of differentiation in oral squamous cell carcinoma	MKurokawa H	歯科口腔外科
J Oral Maxillofac Surg	Analysis of muscle hardness in patients with masticatory myofascial pain	Kashima K	歯科口腔外科
Oral Surg Ora Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	Utility of diffusion-weighted images using fast asymmetric spin-echo sequences for detection of abscess formation in the head and neck region	Kurokawa H	歯科口腔外科
J Oral Pathol Med	Reduced syndecan-1 expression is correlated with the histological grade of malignancy at the deep invasive front in oral squamous cell carcinoma.	Kurokawa H	歯科口腔外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Asian J Oral Maxillofac Surg	Predictive markers for late cervical lymph node metastasis in patients with NO squamous cell carcinoma of the tongue	Kurokawa H	歯科口腔外科
Angle Orthodontist	An adult bimaxillary protrusion treated with corticotomy-facilitated orthodontics and titanium miniplates	Sakoda S	歯科口腔外科
頭頸部癌	Stage I, II舌扁平上皮癌における周辺上皮の上皮性異形成について	黒川英雄	歯科口腔外科
小児口腔外科	小児の嚢胞性疾患に関する臨床的検討	高森晃一	歯科口腔外科
J. of Kyusyu Univ. of Health and Welfare	不妊治療による46, t(12;13)(q21.3;q32)の父親からの3胎	金子政時	周産母子センター
産科合併症	胎児水腫.	鮫島浩	周産母子センター
エッセンシャル産科学・婦人科学 第3版	5-新生児 1成熟徴候.	金子政時	周産母子センター
エッセンシャル産科学・婦人科学 第3版	2-異常分娩 4付属物性異常分娩 5分娩損傷.	鮫島浩	周産母子センター
エッセンシャル産科学・婦人科学 第3版	4-胎児・新生児異常.	金子政時	周産母子センター
臨床エビデンス産科学 第2版	頸管無力症.	鮫島浩	周産母子センター

計 113

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載にあたって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 高崎 眞弓		
管理担当者氏名	放射線部長 田村 正三	薬剤部長 有森 和彦	
	総務課長 小野 潔		

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各診療科	(分類方法) ・ 加付は外来、入院別に1患者1ファイル方式のID番号順で分類 ・ エックス線写真は1患者1ファイル方式のID番号順で分類	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	なし		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	確規保則の第9条	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部
	2	専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医療安全管理部
	3	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医事課
及び第1条各号に掲げる体制	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課		
1	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部		
各号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部		
1	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部		
1	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長	高崎真弓
閲覧担当者氏名	総務課長	小野 潔
	医事課長	鳥居時政
閲覧の求めに応じる場所	第三会議室	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績(なし)

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	73.2%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日	
算出根拠	A: 紹介患者の数	7,154人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	4,651人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	552人		
	D: 初診の患者の数	12,230人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (4) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. リスクマネージャーとの連絡調整に関する事 2. インシデント及び医療事故の調査並びに分析指導 3. 安全管理のための教育・研修に関する事 4. 医療事故防止対策マニュアルに関する事 5. 重要事例の診療録及び看護記録等の確認及び指導に関する事 6. 患者等からの医療に係る相談 7. その他医療事故未然防止及び医療安全管理に関する事 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理のための委員会その他の組織に関する基本事項 3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他医療安全のために必要な基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故防止のための具体的措置に関する事 2. 医療事故防止対策マニュアルに関する事 3. 医療安全に係る職員の教育及び研修に関する事 4. 医療訴訟事故発生時の原因の分析究明、改善策の立案・実施及び職員への周知に関する事 5. 改善策の実施状況調査及び見直しに関する事 6. 医療事故等発生時の家族や患者への説明に関する事 7. 医療安全のための作業標準に関する事 8. インシデントレポート及び事故報告書の分析に関する事 9. 医療安全管理部の業務に関する事 10. その他医療事故等及び医療訴訟に関する事 	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 24 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：集合教育（講義） <ul style="list-style-type: none"> 1. 新規採用者研修（看護師等）：リスクマネジメントの基本的考え方（1回） 2. 新規採用者研修（研修医）：事故の概念、異状死、報告と義務等（1回） 3. 新任リスクマネージャー研修：リスク管理の基本、安全管理体制等（1回） 4. 中途採用者・希望者等研修：リスク管理の基本、安全管理体制等（7回） 5. 全職員研修：医療現場の責任と義務、あるべき姿、医療過誤訴訟等（2回） 6. 全職員研修：医療事故・紛争回避のための現場対応、インフォームド・コンセントの要件等（2回） 7. 各部署との勉強会：リスクセンス、安全管理の視点、部署毎の事例と対策（8回） ・ 研修の主な内容：集合教育（講義、実技） <ul style="list-style-type: none"> 1. AED講習会（医師を除く全職員）：一次救命処置、AEDの取扱（2回） 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 1. インシデントレポートの院内情報公開 2. リスクマネージャー会での事例報告及び周知 3. 作業標準の作成 4. 医療事故防止対策マニュアルの見直し 5. 薬剤管理の抜き打ち調査 6. 新インシデントレポートシステムの開発・稼働 	